

開催月日 : 平成 30年 8月 29日

平成30年度第1回
定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス連携推進会議

施設長	ホーム次長兼センター長	支援センター長	ホーム係長	通所係長	記録

時間	am / pm 10:00	am / pm 11:00	場所	かんだ連雀 地下会議室
議長	尾崎 正紀		書記	福本 美希
出席者	○千代田区高齢介護課介護事業指定係: ●●●●様、●●●●様			
	○千代田区社会福祉協議会: ●●●●●様			
	○千代田区高齢者あんしんセンター: 川島典子(神田地区)			
	○千代田区かがやきプラザ: 常川知美			
	○医療機関: ●●●●様(三楽病院) ●●●●●様(三楽病院) ●●●●●様(杏雲堂病院)			
	●●●●●様(訪問看護ステーションHana-Kago・連携)			
	○知見を有する物: ●●●●●●様、●●●●●●様、●●●●●●様、上宇都紗香			
	○地域住民の代表者: ●●●●●●様、●●●●●●様			
○指定事業者 かんだ連雀いつでもサポートサービス: 峯俊美、尾崎正紀、福本美希				
議題				
確認事項	議長			
	出席者			
会議内容	①開会の挨拶 かんだ連雀: 峯俊美			
	②取り組み事例発表 かんだ連雀いつでもサポートサービス: 福本美希			
	③ご出席者皆様よりご意見・講評			
	④閉会の挨拶			
保留事項				

詳 細
①開会の挨拶
かんだ連雀:峯俊美
○定期巡回を利用することで在宅生活を少しでも長く、ご本人にとって少しでも良かったと思っていただける生活のお手伝いをするには我々に何が出来るかを日々検討しております。今回もそこから現在行っている支援について発表してまいりますので、ご指導、ご意見を頂けますようお願い致します。
②取り組み事例発表
かんだ連雀いつでもサポートサービス:福本美希
○実際の事例を元に、専門的、地域の視点からこの方にとどのような支援が必要かをグループワーク形式で検討して頂き、ご意見を頂戴する。その後に定期巡回としてどのようなアセスメントができたのか、援助の見直しとしてどのような援助を行い、その結果、生活リズムの再構築に繋がったことを発表する。
●川島典子:千代田区高齢者あんしんセンター
○元々どのようなお仕事をされていたのか、食事の確保はどのようにしているのか、昼夜逆転の原因は何か元だと思われるのか教えていただけますか？
(→かんだ連雀 福本)ご本人様は元々酒屋を営んでおりました。また食事に関しては昼、夕と1日2回の配食サービスをご利用されております。ただ、届いたお弁当をすぐには召し上がりず冷蔵庫に溜め込んでしまうことも多く見られております。冷蔵庫がいっぱいと安心するといった理由があります。昼夜逆転に関しては、認知症上の進行もあるかと思いますが、日中1人の時間を持て余し、やることのないため寝ている様子も見られます。そのために昼寝すぎて夜に目がさえてしまい昼夜逆転に繋がっていると思います。
●常川知美:千代田区かがやきプラザ
○薬を飲み過ぎてしまうことについて、どのように保管しているのでしょうか？
(→かんだ連雀 福本)薬に関して援助開始時は薬カレンダーに入れてセットしておりましたが、ご本人が適切に内服するのが難しいため、箱にセットしてその上に薬はヘルパーが対応すると書いた紙を置いて対応しています。また定期通院の他にご家族と通院して処方してもらっている消化剤や風邪薬、市販薬などは本人の手に届く所に保管してあるため、飲みたい時に内服されています。
●●●●●様:医療
○定期通院以外にも処方薬があるんですね。病院を一カ所にまとめたり、薬を統合するために薬剤師が入ってもいいかもしれません。
●●●●●様:知見を有する者
○ご本人の1日の過ごし方を知るためにショートステイの利用を検討してみてもいいかもしれません。また、かかりつけ医に1日の薬の量を減らせないか相談し、服薬状況についても整えていったり、ご家族といつまで在宅生活をするか今後について相談する必要があると思います。

詳 細

(→かんだ連雀 尾崎)今回は初めてグループワーク形式での発表とさせて頂きました。今回、定期巡回ではこのような援助を展開しましたが、皆様から頂いたご意見を援助の参考とさせて頂きます。貴重なご意見をありがとうございます。

④閉会の挨拶

かんだ連雀:峯俊美

○皆様からのご意見をもとにグループワーク形式で発表させて頂きましたが、また今後ご意見、ご指導からよりよい支援が出来るよう努力して参りますので、今後ともよろしく願いいたします。発表形式についても改善して参ります。

以上